

## 佐須地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

### 記

- 日時 平成 25 年 8 月 28 日（水）18 時 00 分～19 時 30 分
- 場所 佐須集会所
- 次第

1. 釜石市長 野田武則あいさつ

2. 最新の土地利用計画について

- ・ 土地利用計画について説明
- ・ 今後のスケジュールについて

3. 災害危険区域の設定について

- ・ 対象区域の設定方法（津波浸水シミュレーションにより浸水が想定された区域）と規制の対象についての説明
- ・ 災害危険区域の範囲について（佐須地区は第一種区域に指定）

4. 住宅再建支援制度について

- ・ 現在の自力再建支援制度について
- ・ 国から追加で分配された基金を活用した、新たな支援制度（釜石市単独被災者住宅再建支援事業補助金、釜石産木材活用住宅推進事業）について

5. 意見交換について

バリアフリー住宅にすれば建築費が高くなると思うが、どの程度の仕様であればバリアフリー補助金の適用になるのか。

→ バリアフリー補助金の適用となる等級3以上というのは、部屋の中に段差がない、トイレやお風呂に手すりが付いている、車いす幅の通路である、などの基準があります。ハウスメーカーに制度を使いたい旨を相談するか、市役所においても基準の詳細等をご説明できますのでご相談ください。

防波堤の完成前にまた同じような津波が来て被災した場合、住宅を再々建するための制度はないのか。

→ 現時点では、そうしたケースを想定した制度がありません。まずは逃げることも含め、各自のご判断をお願いいたします。また、宅地整備後、長い時間があかないよう、防潮堤の早期完成を目指して努力します。

浄化槽整備の補助はどんな制度か。また、一般的に設置費用はどのくらいか。

- 目安としては、5人浄化槽が約50～60万円、最も一般的な7人槽が70～80万円、2世帯住宅規模の10人槽が約100万円です。補助基準額といって、一般的な価格を定めており、その7割が補助されます。

土砂災害危険区域で住宅を建てるための対策は、個別の建物でなく行政で山側に擁壁をつくるなどの対策を図ってもらう方がありがたい。

- 個々の宅地で土砂が流れてくる方向の基礎を上げ、補強するような対策をとって頂くことになります。土地利用の制約や整備費の点から、個別に対策をとって頂かなければならない地域であり、ご理解頂きたいと思います。

土砂対策で著しく建築費が上がらないか心配である。概ね、上がってしまう建設費分くらいが補助してもらえそうなイメージでよいか。

- そのような趣旨の制度とご理解頂いて良いかと思えます。

土砂対策を図った住宅をどのような基準や流れで建てれば良いのか。市民が手続きを理解しておく必要はないか？また、建ててから違法建築になることはないか。

- 振興局が高さの基準を管理しています。住宅の設計業者が決まれば、データを入力し設計します。建築確認を取った後、建築するという流れになります。

公営住宅の見通しについて、もう1度教えてください。

- 宅地造成後からの着手となるため、平成27年度9月の完成を目指しています。また、公営住宅の詳細については、2月の浜のすまいを考える会での意見交換の結果を踏まえた説明の機会を別途、設ける予定です。

用地買収は、いつぐらいからどんなアプローチで進めていくのか。

- 土地単価の算定が出来ていますが、全ての土地を買う方と一部を買う方とで時期が変わってきます。用地買収は全ての土地を買う方から開始し、土地の一部を買う方については、詳細設計が終わってからのご相談となります。今後、個別に電話連絡等を差し上げて、ご相談させて頂くことになります。